



30年勤続表彰者7名

大原 純子さん
北尾 晋司さん
河本 歩美さん
砂川 彩子さん
中捨 玲子さん
松本 勝一さん
村尾 直樹さん



20年勤続表彰者21名

秋田 純子さん
足立 則子さん
井口 誠子さん
市田 容子さん
井上 知代さん
今井 伸平さん
中西 真由美さん
浦川 良太郎さん
梶田 淳之さん
川端 薫さん
新川 直史さん
茶谷 孝治さん
塚本 雅明さん
西岡 章子さん
西本 謹子さん
林 登美枝さん
桃北 豊志さん
森 賢一さん
山本 紫里さん
吉川 亜矢さん
和田 茂樹さん



仲間がいたから今がある。 ～志を胸に歩んだ年月を振り返る～

法人では職員の日ごろの労と貢献に対して、勤続5年ごとの表彰が行われており、そのうち勤続30年・20年を迎えられた職員に向けて理事長から表彰状の授与が行われました。

表彰式には受表彰者28名のうち15名が各拠点から集まり、入職当時やこれまでの歩みを思い返し、印象に残った出来事、職務を続けてこられた理由や今後の展望について語り合いました。

京都市で初めて開設するケアハウスに栄養士として入職し、職員同士はもちろん、入居者の方にも教えられながら試行錯誤する日々だった。そして自身の将来を考えた時に、仲間を支えられながらケアマネジャーの資格を取得し、それを活かす異動の機会を得た。異動により様々な職種の法人職員と共に仕事をし、視野が広がったと感じている。

(小川包括 センター長 砂川彩子さん)

介護保険制度が始まる前の、多様なニーズに応えてサービスをゼロからつくる試行錯誤の時期を支えた30年。施設が6施設に増え、組織としての基盤を築きながら、法人の急成長を支えた20年。その時代、時代のやりがいと苦労は、共に歩んできた仲間の存在が大きいことを思い返されていました。法人内にとどまらない人のつながりを大切に、これからの10年先、20年先も地域を支える一員でありたいと感じています。

最初の1年で辞めようと思ったこともあったけれど、もう20年。あの頃は体力勝負なところがあり、身体の不調は何度もあったが、それでも「最後まで現場にいたい」という思いがあった。現在は「抱えない介護」を率先して実践し、介護職員が身体を痛めることなく続けられる現場に変わって来ていると、身をもって証明することを楽しんでいる。

(西七条特養 主任 井上知代さん)

VISION構想プロジェクト 管理職合宿

2025年6月17日-18日 / 6月30日-7月1日

2030VISIONの内容については、全職員が共通認識を持てるようにすることが、2025年度事業計画のひとつの大きな柱となっています。これからの法人をリードする役割をもつ管理職職員が、行動指針や2030VISIONを具体的に実現するための中期経営計画について主体的に考え、その考えを対話によって活発に意見交換する機会となりました。



人材マネジメント室
部長 上坂 賀世子

昨年より5、6等級で個々の意見を聞く場、グループワークをする機会は複数回あったものの、限られた時間であったため物足りなさを感じつつ迎えた合宿研修。日常業務から離れ、協会の今後について考えるとても濃い時間でした。協会の魅力とは？魅力のある協会にするには何ができる？多くのことを「考え話し、意見を聞き、また考える」を繰り返し行いました。経験してきた職種や年数は違えど、見据えている先の方向は同じなのではないかと感じることができた場であったと思います。あっという間の2日間でした。VISION発表は結果ではなく、始まりであり通過点と感じています。今までの経験を大事に、でも頼りすぎることなく、現状に甘んじず、時にはガス抜きをしながら、つながりを大事に進んでいければと思います。



太秦事務所
所長 石川 貴史

泊りがけの合宿研修というのは入職後初めての経験でした。「組織一体化後、未来に向けて同じ目標を目指すためのVISION」と、言葉としての意味は理解しているつもりですが、参加当初は少ししっくりこない印象がありました。ただ、各グループで自分たちの考える中期経営計画と行動指針を作っていくという話し合いの中、私自身「目から鱗」の出来事がありました。旧他部門にとって、協会の理念は無かったり、比較的新しい言葉だと聞いたことです。私は朝礼で毎回唱和をしていたので、理念が無いという感覚がありませんでした。「法人が一つになっていくということは、そういったところから作り上げていく作業だったのか」その時に自分の中でストンと落ちるものがありました。今後はこれを伝えていくことを自分の役割とし、皆さんと楽しみながら前に進んでいきたいと思っています。



塔南の園児童館
館長 吉水 文翁

合宿の中で、皆さんが本当に「人」を大切にしている日々の仕事に向き合っておられるのだと感銘を受けました。ワークではご利用者や職員、地域の方々のため、安心できる社会を作っていく方法を、時間をかけて話し合いました。グループでの意見を「尊敬を持って人と接する」「感謝を伝える」「誰もが周りの事を考え行動する」「思いやりのある言葉で」等の言葉にまとめました。どの言葉も当たり前の言葉です。しかし、その言葉を日々忘れず、みんなで取り組んでいく必要があると思いました。VISIONはその当たり前を言葉にするものだと感じています。この4月に新たな職場で館長となり、まだまだ周りの人たちに助けていただいておりますが、職員でVISIONを共有し、VISIONが当たり前になるように共に取り組んでいきたいと思っています。



紫野 副施設長
松本 誠

毎回新たな（改めての）出会いや、仲を深めたりと、法人内の関係性だけでなく、自身の考えや視野も広がったように感じています。また、拠点や部署は違っても、同じ法人を選び、同じ福祉介護を選んでいるので、親近感や共通点を見出すことも多くありました。その一方、新たな仲間や外部アドバイザーのBokuminさんや坂本さん、小松さんの言葉など、刺激される言葉もたくさんいただきました。合宿は、いつもの仲間と違う場所、雰囲気を変えて集うことで、新たな一面や考えに触れることができました。残念ながら翌日の業務の都合で1日目しか参加できませんでしたが、夜の懇親会まで参加し、ねぎらいの言葉をいただいたり、皆の熱い思いを共有しワクワクすることができました。対話をつづけ、VISIONの浸透を図っていきます。



VISION...Coming soon!!

西ノ京 圏域地域ケア会議 講演

2025年7月31日 京都アスニー
京都市西ノ京地域包括支援センター主催

「介護保険制度におけるヘルパーの専門性について」をテーマに、朱雀事務所の訪問介護ステーション、ケアマネステーションおよび西ノ京事務所定期巡回ステーションの職員が講演に登壇しました。民生委員をはじめ地域の方、福祉事業所など中京区の関係機関が西ノ京圏域における連携強化を図る取組みの中で実施される圏域地域ケア会議が開催されており、今回は各専門的な立場からご利用者との関わり方や事業について知っていただく機会になりました。



西ノ京事務所
礒谷 あいみさん

「1日2回来てもらえることがほんとに安心」と、服薬確認で定巡を利用されているご利用者家族は仰います。こまめに訪問できるサービスであることを広く知ってほしいと思います。

朱雀事務所
マネジャー 北川 純子さん

「掃除が出来ない」という相談にケアマネジャーがどのような視点を持ち支援に繋げるのか、その流れを解説しました。この講義を機に自立支援への理解が深まると幸いです。



朱雀事務所
主任 沼田 千恵さん

ヘルパーの専門性を地域の皆さまにお伝えし、ヘルパー支援の大切さを一緒に考える時間となりました。私自身も、もっと学びを深めていきたいと感じました。



西ノ京事務所
山口 彼咲子さん

定巡が発足したことにより高齢者の方々が住み慣れた地域や住まいで自立した生活を営み、そして人生の終わりまで全うできるように定巡チーム全員で貢献していきたいと思っています。

皆さんのストーリーを募集します

Associé では、「法人を語る」ように拠点の活動や法人職員の活躍を広く伝える記事を取り扱っています。Associé で伝えていきたいことがありましたら、総務部までお問い合わせください。AとNがお待ちしております！

※掲載時期は相談・検討いたします。



夏祭り！夏祭り！夏祭り！

2025年8月17日～8月30日に行われたお祭り

毎年、この時期は地域とご利用者の皆さまに、様々な拠点で夏祭りを楽しんでいただいています！
西野山団地には、小川・本能からご利用者をお連れして屋台のかき氷を食べたりゲームをされたり、塔南の園では施設前の特設ステージで子どもたちがダンスをしたり、地域や施設にも音楽を届けていただきました。



西野山団地



塔南の園



小川



おがわ



本能



みささぎ



当日は、地域や職員からもボランティアに来ていただきました。
今後も皆さまのご協力をよろしくお願いします！

充実！「厚生会サークル」

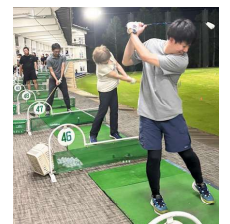
趣味を同じくする仲間が集まる法人内「サークル活動」を紹介しています。
少しでも興味があれば、厚生会またはサークル担当にお問い合わせください。

つながる、仕事を超える。協会内ゴルフサークル始動！

メンバー募集中

「部署を越えてつながれる」「共通の趣味でリフレッシュできる」
そんな場が、ついに形になりました。

「ゴルフってちょっと気になる」「道具がないけど行ってみたい」
そんな人、大歓迎。ゴルフ経験者からエンジョイ勢まで、老若男女問わず
集まって、仕事では見られない“素顔”がコースに転がっています（笑）
月1回あるかないかのラウンド＋ゆるめの練習会あり。
年齢・スコア・フォーム・経験、一切問いません。
「やってみたい！」その気持ちが、参加資格です。
仕事では話す機会がないあのひとと、コースでは意外と盛り上がるかも！？
まずは一度、お気軽にご参加ください！（お問合わせ：小川 中島 真也）



Associé編集後記

表紙右上のイラストは「血圧を下げる食べ物」でした。血圧をケアしながら、美味しく食べる方法を教えてください。
久々にパンツを購入しました。なんと、Mサイズがはけたんです！高血圧と診断された副産物というか…減塩生活を続ける励みになっています。(N)
ライブは和製英語だそうです。英語圏では音楽ジャンルに関わらずコンサート。あちらではliveは生演奏を指す形容詞とのこと。知らんけど(A)

